

行政視察報告

教育厚生常任委員会

*視察日：平成25年8月

6日～8日

*視察先：

青森県下北郡東通村

青森県むつ市

北海道函館市

【東通村】巡回診療車の活用について

「巡回診療車の活用」は、青森県の進める医療・健康・福祉関連分野における「ライフイノベーション事業」の一環として「ヘルスプロモーションカー実証モデルプロジェクト」の実証試験地として設定され、昨年12月より車両並びに搭載される医療機器等を無償で借用して実証している事業です。

ヘルスプロモーションカーは小型超音波画像診断装置やポータブルX線撮影装置などのさまざまな小型医療機器を必要に応じ搭載している軽4輪駆動自動車で、緊急時には救急車両として使用する

ることも可能であることから消防署との取り決めを行っています。

また、ヘルスプロモーションカーは住民の方が親しみやすく呼びやすい「元気ですカー」の愛称で呼ばれており、元気ですカーが走るだけで、住民の人たちが「車は今日来ないの。」と興味を持たれる方が非常に多く、健康診断の説明会などに乗り入れをしているなど、意識・普及啓発に大きく寄与しています。

【むつ市】介護保険サービス以外の高齢者福祉サービス事業について

むつ市の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスは、国、県からの補助がある「家族介護用品支給」や「食の自立支援（配食サービス）」、「成年後見制度市長申立支援制度」などがあり、市単独で実施している事業としては「高齢者等除雪サービス」や「緊急通報体制等整備

事業」、「外出支援サービス」、「訪問理美容サービス」、「福祉タクシー等利用助成事業」のほか、「軽度生活援助ホームヘルプサービス」や「災害時要援護者支援制度」、「救急医療情報キット普及事業」などもあります。



むつ市

【函館市】特別支援教育サポート委員会について

特別支援教育サポート委員会は、学校（園）からの要請に応じて特別な教育的支援が必要であると判断された児童生徒に望ましい教育的対応について、専門的な意見の提示や助言を行うことを目的に、市教育委員会に設置

しており、委員は、小中学校、特別支援学校の教員など教育学等の専門家、医師、福祉、医療関係部局等の職員、学校及び教育センターの職員で、平成25年度は14名の委員で構成されています。

産業経済常任委員会

*視察日：平成25年7月

29日～31日

*視察先：北海道上士幌町

北海道日高町



農業経営について説明を受ける(村上農場)

【上士幌町】村上農場の農業経営について

村上農場は、耕地面積約48haのうち、豆類14ha、ジャガイモ12ha、てん菜11・5ha、その他小麦、

カボチャ、トウモロコシなどの栽培を村上夫妻と数名の研修生などで運営している農場です。

村上農場は販売方法にも特徴があり、小売店との面積契約による直接取引が主な方法でありました。契約した区画で採れたジャガイモは、小さいものから形の悪いものまで全て買い取ってもらうシステムが構築されており、小売店との信頼関係が良好であるからこそ成り立っているという実態がうかがえました。

【日高町】競馬観光について

日高町は総面積992・67平方キロメートルと奥州市とほぼ同じ面積で、また、地方競馬であるホッカイドウ競馬の門別競馬場を有しているところも奥州市と類似している町であります。

観光・競馬振興室では、北海道軽種馬振興公社や日高町地域づくり推進協議会などと協力して、馬産地日高やホッカイドウ競馬の魅力北海道内外にアピールし、日帰りバスモニターツアーなどの

観光ツアーを企画するなどして日高町への積極的な誘客を実現させておりました。

門別競馬場は平成9年に開設した日本で最も新しい競馬場で、平成22年度からは、札幌開催の休止により、唯一のホッカイドウ競馬開催地となっており、全レースをナイターで開催することによって、来場者数や売上げの増加に成功している競馬場でありました。

日高町において門別競馬場は、雇用の創出や経済効果など計り知れないものがあり、なくてはならない重要な観光施設として位置づけられておりました。こうしたことから、日高町観光・競馬振興室では、北海道庁競馬事業室と連携して札幌で競馬開催のPRを実施したり、町内外に開催看板を多数設置して周知を図るなど、ホッカイドウ競馬が将来にわたって安定した経営を維持していくために、官民が一体となって支援している姿勢が随所に感じられました。